

**会員事業所景況実態調査平成30年4月～6月分集計結果**  
**調査依頼数:529 回答数76 回答割合:14.3%**

平成30年度1回目分の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した4月～6月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	24	23	28	75	▲ 5.3	▲ 10.8
	採算	22	28	25	75	▲ 4.0	▲ 20.0
	仕入単価	2	35	37	74	▲ 47.3	▲ 30.1
	従業員	21	49	4	74	23.0	20.3
	業況	13	40	22	75	▲ 12.0	▲ 24.0
	資金繰り	14	48	13	75	1.3	▲ 13.5
建設・建築業	売上	5	5	6	16	▲ 6.3	▲ 35.3
	採算	5	5	6	16	▲ 6.3	▲ 31.3
	仕入単価	0	9	7	16	▲ 43.8	▲ 11.8
	従業員	6	7	3	16	18.8	29.4
	業況	3	6	7	16	▲ 25.0	▲ 23.5
	資金繰り	3	7	6	16	▲ 18.8	▲ 17.6
製造業	売上	6	5	6	17	0.0	28.6
	採算	3	8	6	17	▲ 17.6	▲ 20.0
	仕入単価	0	4	12	16	▲ 75.0	▲ 61.5
	従業員	3	13	0	16	18.8	28.6
	業況	3	10	4	17	▲ 5.9	▲ 26.7
	資金繰り	4	11	2	17	11.8	▲ 21.4
卸・小売業	売上	3	4	8	15	▲ 33.3	▲ 14.3
	採算	2	6	7	15	▲ 33.3	▲ 35.7
	仕入単価	1	8	6	15	▲ 33.3	▲ 35.7
	従業員	3	12	0	15	20.0	▲ 7.1
	業況	0	8	7	15	▲ 46.7	▲ 28.6
	資金繰り	0	14	1	15	▲ 6.7	▲ 14.3
飲食・サービス業	売上	6	8	5	19	5.3	▲ 4.5
	採算	7	8	4	19	15.8	5.6
	仕入単価	0	10	9	19	▲ 47.4	▲ 22.7
	従業員	8	9	1	18	38.9	27.3
	業況	5	12	2	19	15.8	▲ 13.6
	資金繰り	4	14	1	19	15.8	0.0
その他	売上	4	1	3	8	12.5	▲ 42.9
	採算	5	1	2	8	37.5	▲ 28.6
	仕入単価	1	4	3	8	▲ 25.0	▲ 28.6
	従業員	1	8	0	9	11.1	14.3
	業況	2	4	2	8	0.0	▲ 42.9
	資金繰り	3	2	3	8	0.0	▲ 28.6

**(全体)**

少しずつ全体的に改善されてきている。資金繰りについてはプラスに転じている。  
 しかし、仕入単価は上昇、従業員は不足している。

**(建設・建築業)**

売上、採算は25ポイント以上改善されている。業況、資金繰りについては微減となっている。  
 仕入単価は上昇しているが、従業員の不足は多少解消されている。

**(製造業)**

売上が約30ポイント悪化しているが、採算、業況、資金繰りについては概ね改善され、資金繰りはプラスに転じている。  
 建設・建築業同様、仕入単価は上昇しているが、従業員の不足は多少解消されている。

**(卸・小売業)**

売上、業況については大きく悪化しているが、採算、仕入単価、資金繰りは少し改善されてきている。  
 従業員は過剰から不足状態となっている。

**(飲食・サービス業)**

売上、業況はプラスに転じ、採算、資金繰りについても増加している。  
 仕入単価が上昇し、従業員は不足している。

**(その他)**

売上、採算についてはプラスに転じ、業況、資金繰りについても±0と大きく改善されている。  
 従業員、仕入単価についても少し改善がされている。

【質問 A】 6月と比較した7月～9月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	13	40	22	75	▲ 12.0	▲ 17.6
	採算	10	42	23	75	▲ 17.3	▲ 21.3
	仕入単価	2	36	36	74	▲ 45.9	▲ 39.7
	従業員	24	49	1	74	31.1	21.6
	業況	9	46	20	75	▲ 14.7	▲ 23.0
	資金繰り	9	58	9	76	0.0	▲ 20.3
建設・建築業	売上	4	9	3	16	6.3	▲ 25.0
	採算	4	8	4	16	0.0	▲ 29.4
	仕入単価	0	8	8	16	▲ 50.0	▲ 37.5
	従業員	8	8	0	16	50.0	17.6
	業況	4	7	5	16	▲ 6.3	▲ 29.4
	資金繰り	3	11	2	16	6.3	▲ 23.5
製造業	売上	4	9	4	17	0.0	▲ 20.0
	採算	1	12	4	17	▲ 17.6	▲ 33.3
	仕入単価	0	5	11	16	▲ 68.8	▲ 71.4
	従業員	4	12	0	16	25.0	28.6
	業況	1	14	2	17	▲ 5.9	▲ 35.7
	資金繰り	1	14	2	17	▲ 5.9	▲ 35.7
卸・小売業	売上	2	6	7	15	▲ 33.3	▲ 28.6
	採算	2	7	6	15	▲ 26.7	▲ 35.7
	仕入単価	1	8	6	15	▲ 33.3	▲ 42.9
	従業員	4	11	0	15	26.7	▲ 7.1
	業況	0	8	7	15	▲ 46.7	▲ 21.4
	資金繰り	0	13	2	15	▲ 13.3	▲ 28.6
飲食・サービス業	売上	2	13	4	19	▲ 10.5	0.0
	採算	1	13	5	19	▲ 21.1	▲ 9.1
	仕入単価	0	11	8	19	▲ 42.1	▲ 18.2
	従業員	8	10	0	18	44.4	40.9
	業況	1	15	3	19	▲ 10.5	▲ 4.5
	資金繰り	3	14	2	19	5.3	0.0
その他	売上	1	3	4	8	▲ 37.5	▲ 28.6
	採算	2	2	4	8	▲ 25.0	14.3
	仕入単価	1	4	3	8	▲ 25.0	▲ 42.9
	従業員	0	8	1	9	▲ 11.1	14.3
	業況	3	2	3	8	0.0	▲ 42.9
	資金繰り	2	6	1	9	11.1	▲ 28.6

(全体)

前回より、全体的に改善する見通しである。  
仕入単価の上昇、従業員の不足は共に改善されない見通しである。

(建設・建築業)

売上、資金繰りはプラスに転じ、全体的に改善されていく見通しである。  
仕入単価は上昇し、従業員については過剰になる見通しである。

(製造業)

全体的に改善され、特に業況、資金繰りについては30ポイント近く好転する見通しである。  
仕入単価、従業員についても少し改善される見通しである。

(卸・小売業)

売上、業況は悪化するが、採算、資金繰りは好転する見通しである。  
仕入単価は減少するが、従業員については過剰から不足になる見通しである。

(飲食・サービス業)

売上、採算、業況は悪化するが、資金繰りは好転する見通しである。  
仕入単価の上昇、従業員の不足は共に改善されない見通しである。

(その他)

売上、採算は悪化し、業況、資金繰りは好転する見通しである。  
仕入単価は改善され、従業員については不足から過剰に転じる見通しである。

【質問 B】 外国人材の受け入れについて

1-1. 外国人受け入れのニーズについて、選択肢から1つお選びください。

※選択肢1または2の”ある”、と回答された方は受入の仲介をしている(してくれる予定)機関名をご記入下さい。

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1:ある(既に雇用している)	2	1	0	0	0	3
2:ある(今後雇用する予定)	0	1	0	2	0	3
3:今後雇用するか検討中	5	1	2	5	0	13
4:ない	9	14	12	12	9	56
合計	16	17	14	19	9	75

受入機関名

- ワールドピース協同組合(建設・建築業)

1-2. 外国人材を受け入れる際に課題と感じていることについて、該当番号に○印をお付け下さい。

※複数回答可能

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. 言語等コミュニケーションに不安を覚える	10	8	7	8	3	36
2. そもそも何から取り掛かってよいかわからない	3	3	3	6	2	17
3. 外国人材を雇用した後に、事件、事故等が起きないか不安	6	7	5	3	3	24
4. 外国人材を雇用する際の手続きが煩雑	6	5	2	1	1	15
5. 外国人材を紹介・仲介してくれる機関が限られている、または知らない	4	2	1	5	1	13
6. 雇用したい職種に該当する在留資格がない	1	1	1	1	0	4
7. 賃金・労働条件・人事管理(キャリアプラン等)の設定が日本人と異なる	2	1	1	1	2	7
8. 外国人材の雇用に関し、日本人社員の理解が得られない	0	0	1	0	1	2
9. 外国人材の雇用に関し、近隣住民等の理解が得られない	0	0	2	0	0	2
10. そもそも日本人の雇用も考えていない	0	2	5	2	1	10

その他

- 外国人に対するお客様の理解が難しい(建設・建築業)
- 現場に入場できる数が少ない(建設・建築業)
- 身元の保証、継続雇用の保証(製造業)
- 文化の違いからお互いの理解が難しい(卸・小売業)

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点

※複数回答可能

項目	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
売上が上がらない	6	6	6	4	1	23
利益が上がらない	8	4	6	7	1	26
消費・需要の停滞	2	4	10	4	2	22
仕入価格(原材料費)の上昇	6	11	4	6	2	29
販売単価、受注単価の低下	5	0	1	2	1	9
後継者不足	3	0	2	1	4	10
大型店等の進出等による競争の激化	0	0	3	1	0	4
従業員不足	7	2	3	4	1	17
従業員の技術力不足	3	3	1	2	0	9
事業資金の借入難	2	0	2	0	0	4
商品在庫の過剰	0	2	3	1	1	7
消費者ニーズの変化への対応	2	1	0	2	1	6

その他

- 採用難(製造業)
- 物件(土地)の不足(飲食・サービス業)

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

- 融資枠の拡大(建設・建築業)
- 第1四半期の発注の発注の拡大(建設・建築業)
- 公共工事の数が少ない(建設・建築業)
- 人口減少への歯止め対策の実施(卸・小売業)